

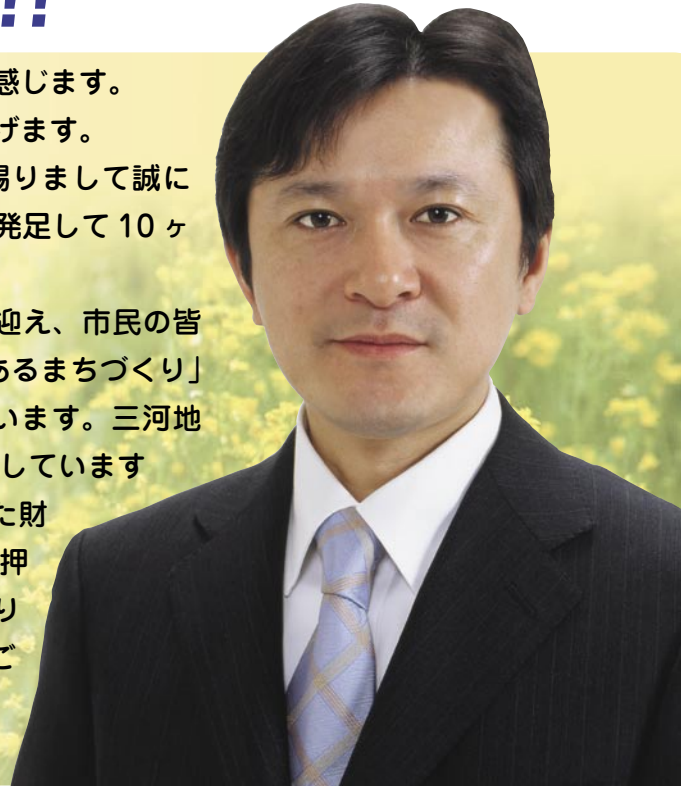


# 安心・安全で心の豊かさが実感できる街 「安城」を目指します!!

梅のつぼみがほころぶ季節となり、春の訪れが待ち遠しく感じます。  
皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は「坂部たかし」後援会の諸活動に絶大なご理解を賜りまして誠に  
ありがとうございます。早いもので「坂部たかし」後援会が発足して10ヶ  
月が過ぎようとし、平成18年度も残りわずかとなりました。

平成19年度の安城市は、市制施行55周年の節目の年を迎え、市民の皆  
様が安心安全に暮らすことのできる、将来を見据えた「夢のあるまちづくり」  
に向け、真に必要な施策を積極的に展開していく事としています。三河地  
区は活発な企業活動や人口の増加により市の財政状況は充実しています  
が、こういった時期だからこそ足元をみつめ、将来に備えた財  
政運営や施策を創意工夫し次世代を担う子どもたちに負担を押  
しつけない、安心・安全で心の豊かさが実感できるまちづくり  
を進めるべきと考えます。今後とも皆様の力強いご支援・ご  
協力を「坂部たかし」にいただけますよう心からお願い申し  
上げます。



## 坂部たかしの活動記

### 神谷学市長と硬く握手



ご多忙中、時間をいただきごあいさつをさせていただきました。

お話の中で素晴らしいお人柄と安城市への強い想いが感じ取られ、非常に頼もしく思いました。神谷市長が掲げる「市民とともに育む環境首都・安城」の実現に向け、私自信も精一杯努力して活動を展開していきたいと考えています。神谷学市長ありがとうございました。

## 坂部たかしの目指す政策

### ●安心・安全な自立できる街づくり

- ・働きながら子育てできる環境の充実
- ・高齢社会へ向けた福祉・医療の充実
- ・地域が一体となったコミュニティづくり

### ●快適でうるおいのある街づくり

- ・自然環境を活かした水と緑のあるまちづくり
- ・市民と協働したエコライフ・循環型社会の推進
- ・生活者のための安全で快適な交通環境づくり

### ●ゆたかな心と創造性を育む街づくり

- ・学校・地域・家庭と連携した教育環境の推進
- ・心と体の健康を促進する、文化・スポーツ活動の充実
- ・産業の発展と人のふれあいまちづくり

### 「坂部 たかし」プライベートデータ

生年月日	昭和40年10月13日 41歳
住所	安城市里町 家族構成 妻、長女、長男
趣味	スキー、音楽、旅行
◇略歴	
昭和59年3月	愛知県立豊田南高等学校卒業
昭和62年3月	名古屋電子計算機専門学校卒業
平成2年1月	アイシン精機(株)入社 情報システム部配属
平成13年9月	アイシン精機労働組合 評議員
平成19年1月	アイシン精機(株) 課長格
◇地域活動	
平成18年	安城市立東栄幼稚園 PTA 会長、 安城市学校給食合同調理場運営委員会 委員
◇現職	
	アイシン精機(株) さわかふれあいセンター 企業市民活動グループ 主担当

●**隆い志**を持ち  
精一杯諸活動に  
取り組んで参ります!



# 安城市の子育て支援の現状

『子どもを育てる喜びを家庭・地域・社会とともにはぐくむまち』

安城市は平成16年厚生労働省より「子育て支援総合推進モデル市町村（子育て支援 No.1）」の指定を受け、子育て先進都市としての役割を担っています。（指定市町村 全国：49市町村 愛知県：安城市、東海市、豊田市の3市）



## I 安城市の子育て支援施策

（平成16年4月1日現在）

子育て支援施策	対象児童年齢						保育料金など（主食・間食代などは別）			
	0～2歳	3～5歳	1～3歳 小学校 3年生	4～6歳 小学校 6年生	1～3歳 中学校 3年生	（18歳まで） 高校生	単位	3歳児未満	3歳児	4歳児以上
保育園（通常保育）	●	●					月	最高48,000円 （主食代含む）	最高24,400円	最高20,900円
延長保育（特別保育）	●	●					月	1,000円	1,000円	1,000円
一時保育（ // ）	●	●					日	1,950円 （主食代含む）	1,000円	850円
休日保育（ // ）	●	●					日	2,000円	1,000円	900円
病後児保育	●	●	●				日	表中の対象年齢で2,000円		
ファミリー・サポート・センター	●	●	●	●			時間	表中の対象年齢で月～金曜日600円 土・日曜日・祝日など700円		
サルビア学園		●					月	表中の対象年齢で所得に応じた費用		
療育センター （やまびこルーム）	●	●						無料		
児童クラブ			●				月	表中の対象年齢で5,000円		
児童センター	●	●	●	●	●	●		無料		
子育て支援センター（特別保育）	●	●						無料		

## II 安城市の主な支援制度

主な制度		内容
育児支援	児童手当	小学校6年生までの子どもを持つ方（所得制限有） 月額 5,000円/人 第3子以降 10,000円/人
	児童扶養手当	父親の死亡・障害・離婚などでひとり親家庭になった方（所得制限有） 月額 9,850円～41,720円 加算額 2人目 5,000円 3人目以降 3,000円/人
	安城市遺児手当	父または母の死亡・障害・離婚などでひとり親家庭になった方 （義務教育が終了した子どもの場合は所得制限あり）月額 2,500円/人
関連医療	乳幼児医療助成	小学校入学前の乳幼児が病気などで医療機関にかかった場合に、医療費（通院・入院）が助成されます。（所得制限なし）
教育関連	奨学金制度	経済的理由により公・私立高等学校への就学が困難な生徒で、学力が優秀な者を経済的に支援するために必要な資金を支援する制度（返却の義務はない）月額 9,000円
	私立高等学校等授業料助成	私立高等学校もしくは市立専修学校（修業年限3年で卒業時高等学校卒業資格が得られる学校）に在籍する生徒の保護者（市内在住）年額 12,000円
	私立幼稚園就園推奨費補助	3・4・5歳児及び本年度中に満3歳になる幼児を私立幼稚園に就園させる保護者に、所得状況に応じて授業料及び入園料の一部を補助する制度
	安城市立幼稚園の減免	3・4・5歳児及び本年度中に満3歳になる幼児を安城市立幼稚園に就園させる保護者に対し、所得状況に応じて授業料の全部もしくは一部を減免する制度。

### 私、坂部たかしはこのように考える



こうして子育て支援関連の市の施策や制度を再確認するとたくさんありますね。

少子化や核家族化の進展、共働きやひとり親など、家庭の多様化により子育ての環境は大きく変わっています。施策や制度は多い方がよいのに違いありませんが、市の財政、人材の中で実施できる範囲で持続的にサービスが可能なものでなければなりません。

一つひとつの施策や制度が多様化する家庭の環境に対応し、子育てをする親の負担感の軽減や子ども（実際の利用者）の視点に立って実施されているかを検証し、それぞれの施策や制度の見直しや再構築が必要と考えます。

また、全てを行政に任せるのではなく、私たち大人も自助・共助・公助の考え方でご家庭やご家族の中でできることや、ご近所や地域で協力してできることなどに積極的に取り組み、次世代を担う子どもたちが心身ともに健康に育ち、安心・安全な子育て環境を整えていくべきです。